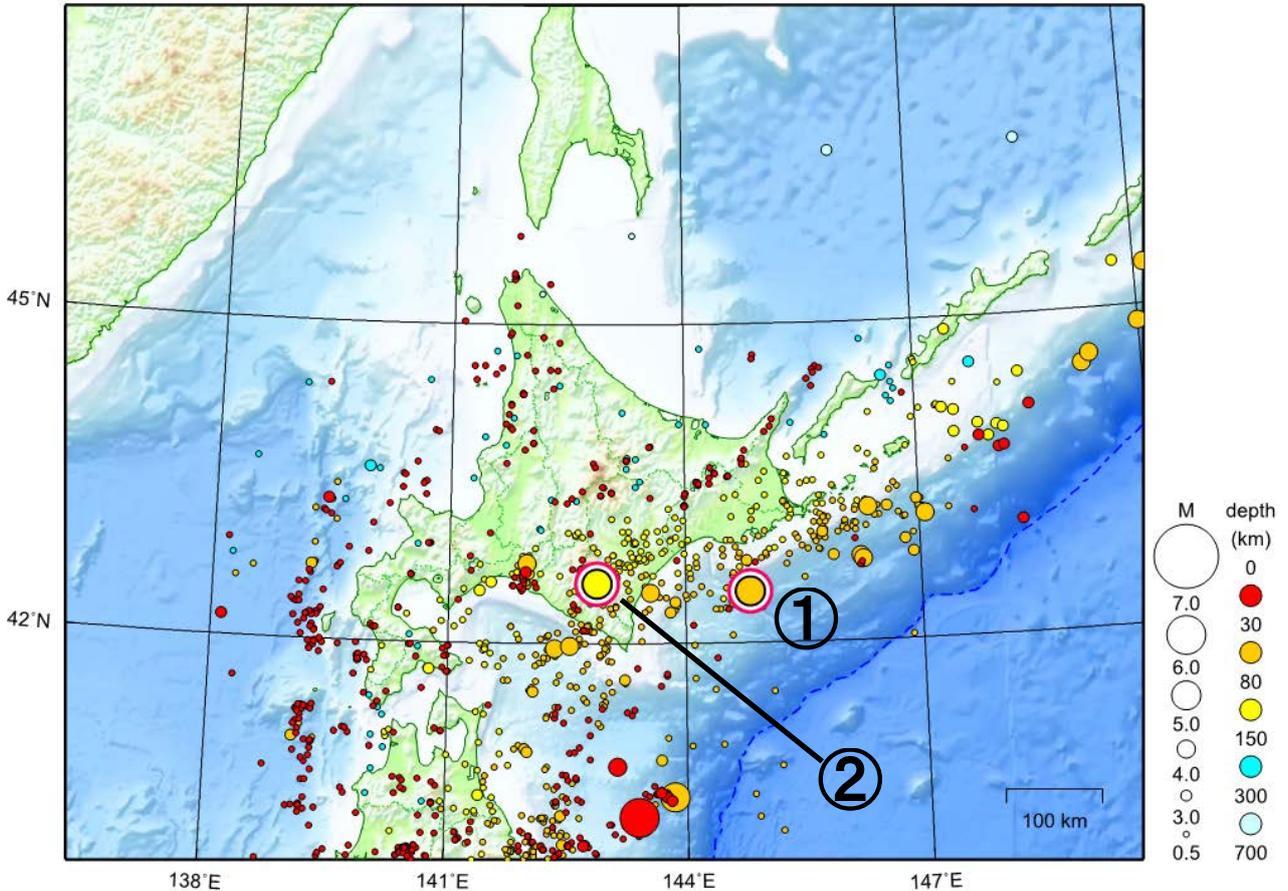


北海道地方

2019/04/01 00:00 ~ 2019/04/30 24:00

N=1169



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 4月15日に釧路沖でM5.1の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 4月28日に十勝地方南部でM5.6の地震（最大震度4）が発生した。

（上記期間外）

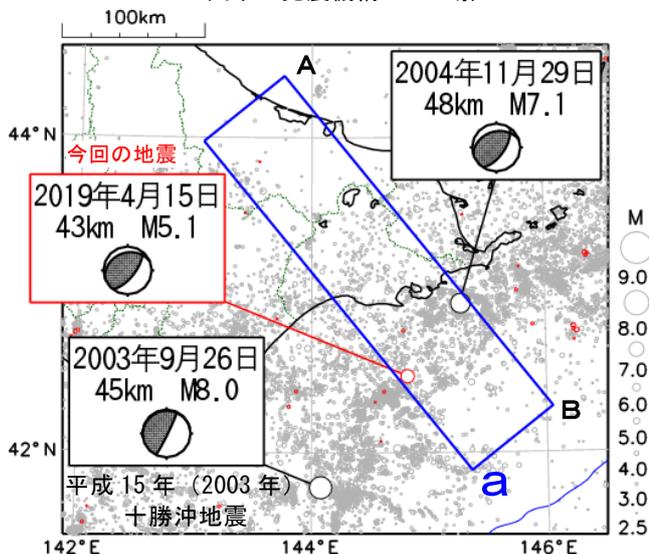
5月5日に根室半島南東沖でM5.3の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

4月15日 釧路沖の地震

震央分布図
 (2001年10月1日～2019年4月30日、
 深さ0～200km、M≥2.5)
 2019年4月の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解

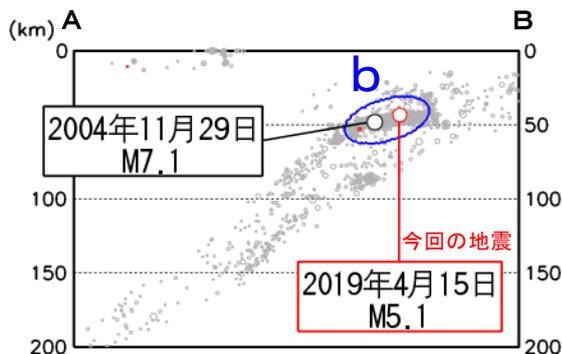


2019年4月15日05時28分に釧路沖の深さ43kmでM5.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

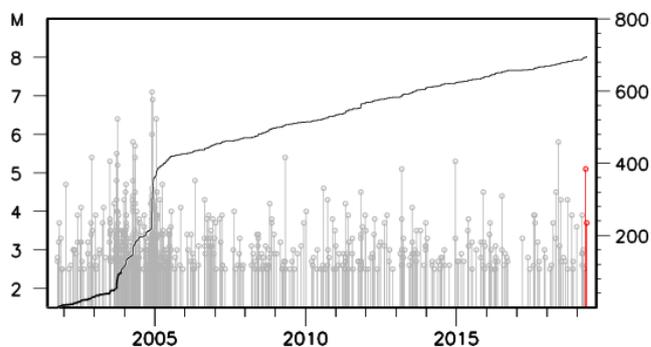
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生している。最大規模の地震は2004年11月29日に発生したM7.1の地震(最大震度5強)で、根室市花咲で12cmの津波を観測した。この地震により、負傷者52人、住家被害5棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。2003年9月26日の「平成15年(2003年)十勝沖地震」(M8.0、最大震度6弱)では、十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国の太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、北海道では死者1人、行方不明者1人、負傷者847人、住家被害2,065棟などの被害が生じた(「理科年表」による)。

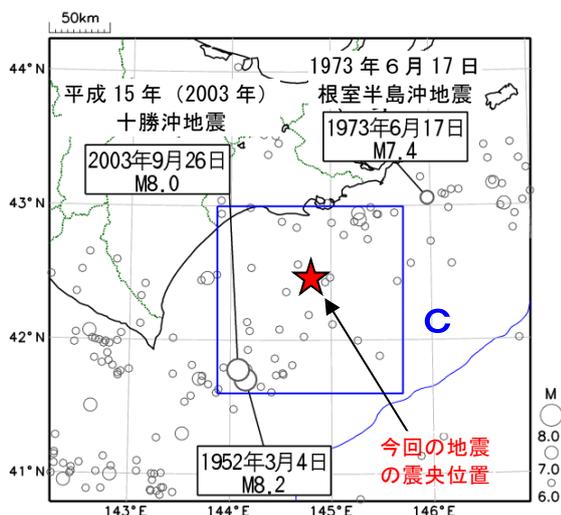
領域a内の断面図(A-B投影)



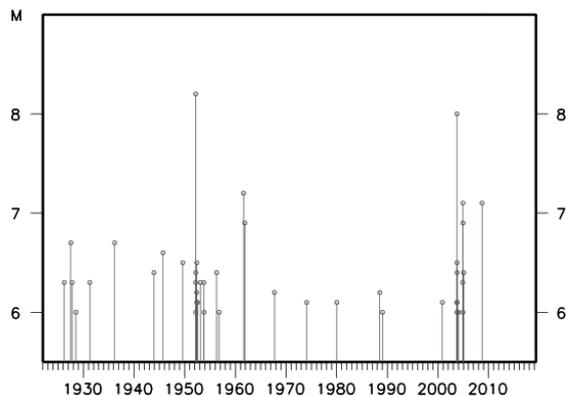
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年4月30日、
 深さ0～100km、M≥6.0)

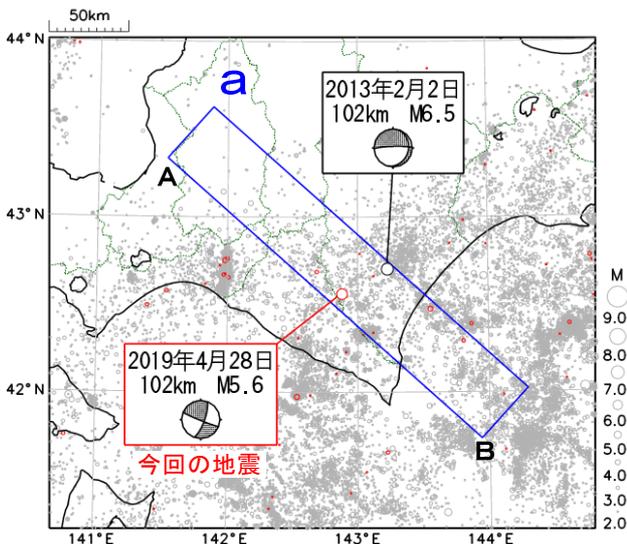


領域c内のM-T図



4月28日 十勝地方南部の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2019年4月30日、
深さ0～150km、M≥2.0)
2019年4月の地震を○で表示

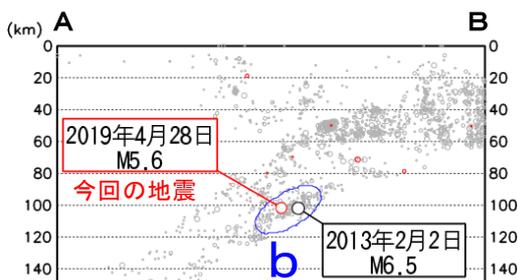


2019年4月28日02時24分に十勝地方南部の深さ102kmでM5.6の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構がプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

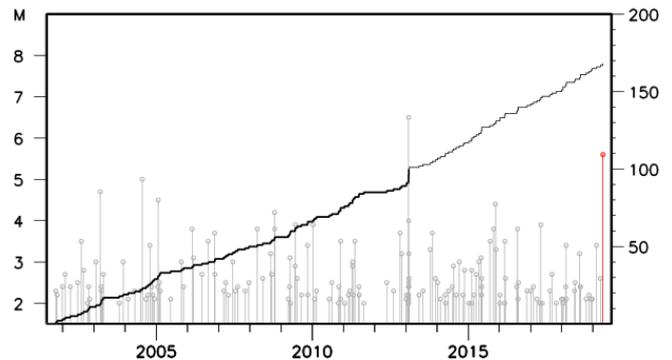
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0以上の地震が今回の地震を含めて3回発生している。2013年2月2日にはM6.5の地震 (最大震度5強) が発生し、負傷者14人、住家一部破損1棟の被害が生じた (「総務省消防庁」による)。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。1970年1月21日に発生したM6.7の地震 (最大震度5) では、負傷者32人、住家全壊2棟、半壊7棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

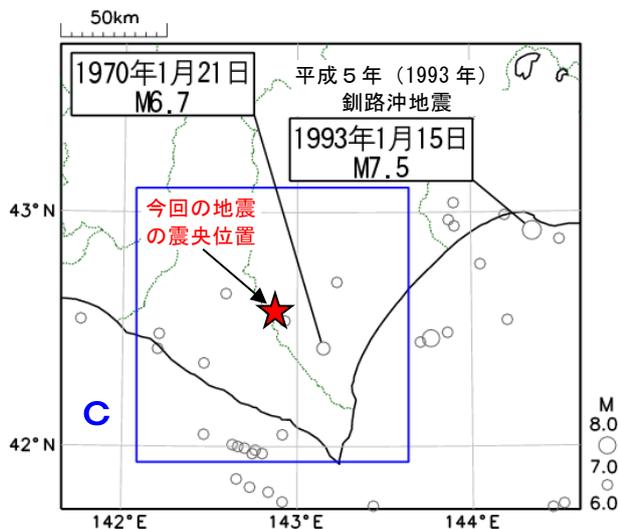
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



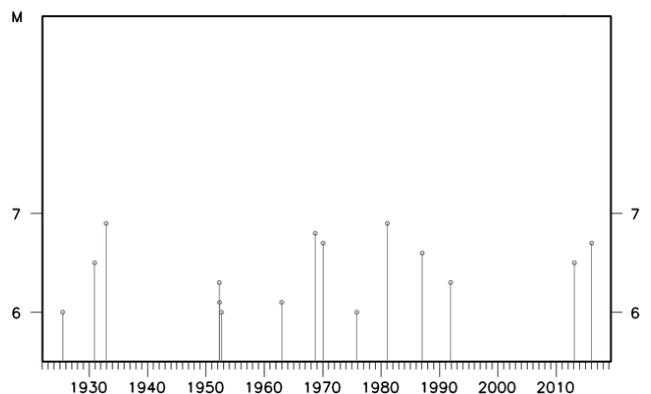
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年4月30日、
深さ50～150km、M≥6.0)

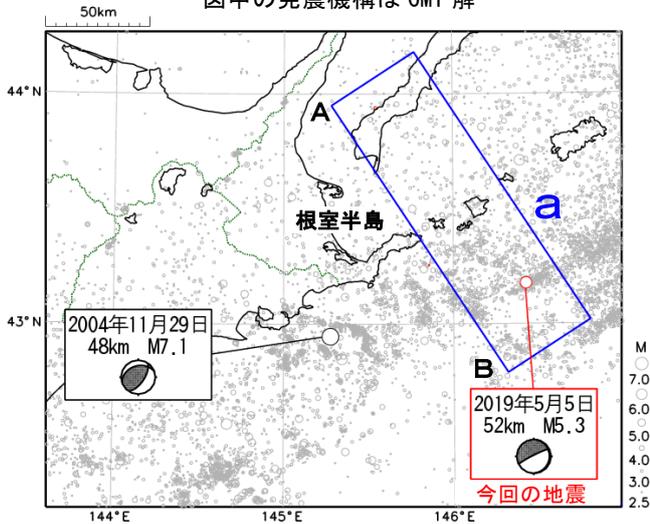


領域 c 内の M-T 図



5月5日 根室半島南東沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2019年5月6日、
深さ0～200km、M≥2.5)
2019年5月の地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解

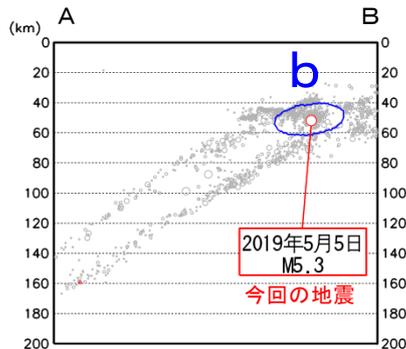


2019年5月5日01時40分に根室半島南東沖の深さ52kmでM5.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が北西-南東方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した。

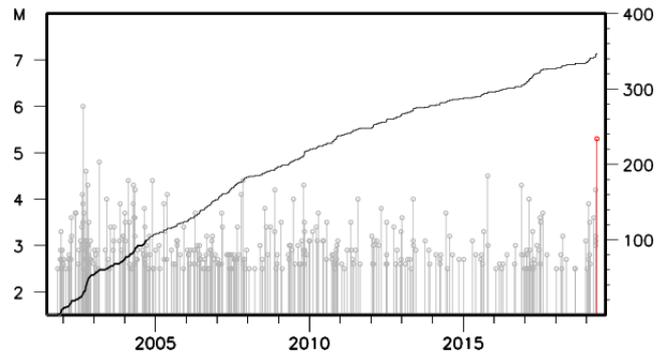
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、今回の地震を含めてM5.0以上の地震が2回発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が4回発生しており、最大規模の地震は1994年10月4日の「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」(M8.2、最大震度6)で、根室市花咲で168cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測するなど、北海道から沖縄県の太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、北海道では負傷者436人、住家被害7,519棟等の被害が生じた(「平成6・7年災害記録 北海道」による)。

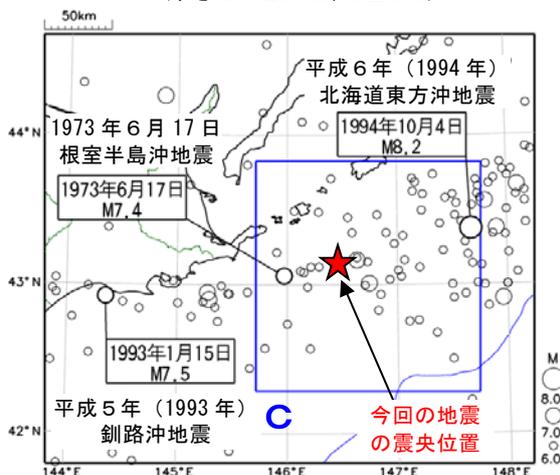
領域a内の断面図(A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年5月6日、
深さ0～200km、M≥6.0)



領域c内のM-T図

